

報 告 書

第3回北栄町環境審議会（第4回環境CF0会議）を開催しましたので報告します。

詳細については、別紙議事録（概要版）参照

（審議会内容）

2. 議事

（1）環境基本計画の改訂（案）について

資料に沿って説明

（大まかな内容）

- ・1/16～2/16に行ったパブコメには意見なし
- ・これまでの環境審議会、関係者等から出た意見に基づき修正
⇒大きな変更はなく承認

（2）その他

特になし

3. その他

（1）CF0（最高未来責任者）の活動報告（令和5年度）

- ・山田CF0がR5年度活動報告、R6年度事業（予定）について報告

（2）環境報告書

- ・完成版をHPで掲載

（3）その他

- ・現在の環境審議員の任期が近づいているため、環境審議員の募集を行うこと、来年度の活動に向け環境CF0の追加募集等を行っていく旨の説明
- ・脱炭素ロードブック制作プロジェクトについて説明

議事録（概要版）

議事（1）環境基本計画の改訂（案）について	
委員	計画の内容としては問題ない。パブコメに意見が無いことなどから関心が薄いと感じられる。重点目標 10「みんなで環境について学ぼう・知ろう」にもあるが、いかに周知してくかが重要。昨日行われた「北栄みらいトーク・ゼロカーボン」など、イベント参加者も多くなっていると感じる。今回、地球温暖化対策実行計画の一体化となったので、はじめが大切。断熱などを行い、脱炭素を進めると出費が抑えられるなど、エコを進めると得につながるといったことなどを理解していただき、理解を深めていく必要がある。数値目標の中にも住民参加型のイベント開催が回数として挙がっているが、ゼロカーボンに向かっていくためにも回数だけではなく、参加者を増やしていく仕掛けや工夫を考え、推進していく必要がある。
事務局	基本計画の見直し、実行計画について地域、住民に共有していく必要がある。2050年に二酸化炭素排出「0」を目指した覚悟を持つ必要がある。意識、行動、経費、関心、理解、必要性などについてより周知していく。脱炭素を課題解決の手段にしていく必要がある。断熱により健康やお金に優しい、地域が元気になることをわかっていただくなど。関心のあるところに訴えかける必要がある。子どもや高齢者などに情報提供していくことが大切。子どもから大人、家計を任されている方同士の口コミなど、数値目標だけではなく見えないところに効果的につなげていく必要がある。CF0など若い方にもつなげていくなど、いろいろな場面で周知を頑張っていきたい。
委員	P27 高濃度ダイオキシンの記載を追記されているが、高濃度がどの程度といったところがいまいちなため、「高濃度」は削除してもよいのではないか。
事務局	ダイオキシン関係について委員からご意見が無ければ、事務局と会長で協議し、最終案を決めさせていただきたい。
委員	了解
委員	この会の中でご意見がなくても、追加の意見等あれば15日（金）までに事務局に連絡していただくということにさせていただきます。
委員	了解
その他（1）CF0活動報告（山田CF0）	
委員	よくまとめられている。時間的にも丁度よい。来年の海岸清掃、キーホルダー作りなどのイベントが小学校、PTAの活動に繋がっていけばいいと思う。
委員	鳥取県からCOP28（国連気候変動枠組条約第28回締約国会議）に大学生3名が参加した。その他にも県で行っている事業があるので、環境CF0の若い方にも参加していただければ、CF0のモチベーションや発表の場にもなると思うので、情報提供させていただく。 ・トトリボーン！使節団COP28学生派遣事業 ・脱炭素チャレンジカップ2024 などを紹介
事務局	今後の環境CF0会議の中で情報共有していく。